

無料法律相談会のお知らせ

弁護士による無料の法律相談会を定期的に実施しています。ご相談は事前予約制です。医療福祉問題に限らず、ご相談が可能です。ぜひ多くの方にこの機会をご利用いただければと思います。ご相談お待ちしております。

日程	時間	担当者
1月14日(金)	13時~	一輪草 法律事務所
2月10日(木)	13時~	深谷駅前 法律事務所

※相談終了時間は相談希望者の人数等によって異なります。

- ◆会場…熊谷生協病院
- ◆予約…熊谷生協病院 医療福祉相談室
- ◆電話…048-524-3841 (松本・佐藤)

冬のあったかレシピ

《かぼちゃのほっとサラダ》

【材料】(2人分)

- かぼちゃ……1/6カット
- しめじ……1/2パック
- いんげん……4本
- 人参……1/4本
- ロースハム……2枚
- バター……大さじ1
- 塩・こしょう……少々
- 粉チーズ……少々



【作り方】

- ① 食材を食べやすい大きさに切る。
- ② レンジで各食材を2分前後で火が通るまで加熱する。
- ③ ボールに加熱した野菜とハム、バター、塩こしょうを入れて優しく混ぜ、お皿に盛って粉チーズをかける。



《体を温めて寒い冬をのりきろう！》

朝晩は特に冷え込むこの季節。体温が平熱より1℃下がると体内で病原体と戦う白血球の機能が30%低下するとも言われています。そのため、根菜類や南瓜・発酵食品などの体を温めてくれる食材を使い、体温を上げて免疫を活性化させることでウイルスへの攻撃力を高めて風邪に負けない食事を心がけましょう。(食養科：新井)

1月 外来診療のご案内 電話(総合案内) 048-524-3841

訪問診療は随時行っております。詳しくは病院までお問い合わせください。

当院は予約優先となっております。予約なしの受診を希望される方は、来院前にご連絡下さるようお願い申し上げます。

受付時間	月	火	水	木	金	土	
内 科	午前(8:15~11:30)	宮岡 須田	鶯塚 青木 田中	鶯塚 遠井	宮岡 鶯塚 岡本 杵淵 奥山	古市 田中	担当医 新井 (てんかん外来 (第4))
	午後(14:00~16:00) ※第2、3水曜日は 14時00分~15時00分	須田	(※急患外来) (発熱外来)	(※急患外来) (発熱外来)	杵淵 (発熱外来)	(発熱外来)	
専門 外来	午後(14:00~16:00)	鶯塚 (頭痛・めまい 外来)	新井 (てんかん外来 (第4))	鶯塚 (もの忘れ・ 小刻み歩行外来)	岡本 (糖尿病外来)		
小 児 科	午前(8:15~11:30)	小堀	新井	遠井	荒熊	小堀	小堀
	午後(13:30~16:00)	休診 予防注射 (14:00~ 15:00) 乳児健診 (第4)	休診	休診	休診 アレルギー 外来 (第4)	休診	1歳6ヶ月 健診 (予約制) 3歳児健診 (予約制)
胃カ メラ	午前		○	○	○	○	

※担当医師は都合により変更することがあります。ご了承下さい。

●休診日/日曜日・祝祭日・土曜日午後

発熱やカゼ症状等のある患者様は、感染対策のため一般外来と時間・場所を分けて診療しておりますので、必ず事前に電話でご連絡頂きますようお願いいたします。

※急患外来

定期通院の方が予約をする外来ではなく、当日具合が悪い方などを診療いたします。受診される方は、必ず事前にご連絡いただきますようお願い申し上げます。

2022年、笑顔ではじまる健康づくり……………

ほほえみ

第346号

1
月号

<http://www.kumagaya-hospital.coop/>

【病院理念】 県北地域に安心と協力の創造を いついかなる時も利用者の権利を尊重し、そのニーズにふさわしいサービスを、保健・医療・福祉の事業を通して、誠実に提供します。

明けましておめでとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。



新型コロナウイルスに翻弄されて丸2年が経ちました。世界では多くの人たちが命を奪われ、新型コロナウイルスは次々と変異を繰り返しながらまだまだ猛威を振っています。日本ではマスク・うがい・手洗い・消毒、三密を避ける新しい生活様式が定着してきましたが、一方で医療の脆弱さが露呈し、崩壊寸前になっていました。健康診断の中止などで疾患の早期発見が遅れる、必要な手術が延期される、手術後の定期受診が延期されて病気が進行してしまい手遅れになるといった事例もありました。新興感染症が流行すると医療がこんなにも簡単に崩壊することを感じた2年でした。

緊急事態宣言が出され、医療が崩壊寸前な状況でも夏のオリンピックは開催されました。多くの感動あるシーンがありましたが、費用についての総括がされていないまま年を越してしまいました。貧困や格差社会への対応が遅れるばかりで、子ども食堂や食料配布などで急場をしのいでいる人たちが増えています。日本の総理大臣は、2回替わりましたが基本路線は何も変わっていないようです。新自由主義による格差社会をオブラートに包んだ新しい資本主義は耳さわりの良いようですが、基本は同じです。医療分野では、医療機関を減らし医療費を削減する方向性は何も変わっていません。

世界では人種差別に反対し、平和や平等を訴え、SDGsを共通の目標に多様な人たちが連帯しています。2017年に採択された核兵器禁止条約が2021年1月22日に発効されましたが、日本は相変わらず批准していません。それでも核兵器廃絶を願っていた故肥田舜太郎先生のバトンを受け取った人たちが沢山います。

医療分野では、住み慣れた地域で暮らしながら通院や訪問診療などその人の希望にあった医療を受けられるようになる地域包括ケアシステムが少しずつ出来始めています。寝たきりや終末期の高齢者・超高齢者の方々が住み慣れた自宅で最期を迎えられるようにすることが医療の中心になり始めています。当院では在宅医療を充実させ、地域包括ケア病床と強化型療養病床を維持しながら在宅から一般病床・地域包括ケア病床、強化型療養病床までの切れ目のない医療を行い、さらに他医療機関との連携も強めていきます。

しかし現実には老老介護の高齢者家庭、認知(認知症同士の)介護の高齢者家庭、高齢者の独居など在宅医療にはまだまだ多くの問題が山積しています。昨年は新型コロナの在宅療養者の訪問診療(※オンライン診療も含む)にも取り組みました。これらの問題を解決する方法を今年も考えていきます。また、今までは専門病院で過ごしていた高度な医療を必要とする子どもたち(医療的ケア児)も自宅へ帰ることが多くなりました。当院では高齢者と一緒に小児の訪問診療もさらに充実していきます。加えて、男女ともに働きやすい社会を目指すべく、働くお母さんお父さんを支援するために急な病気のお子さんを預かる病児保育室も期待にこたえられるように運営努力を継続しています。当院では病院の中で医療を行うだけでなく、乳幼児から高齢者までの在宅医療を支えられる病院として質の高い医療を提供し、子どもから超高齢者までが健康で住みやすい街を地域の皆様と一緒に作りたくと考えています。

地域の皆様がお自身やご家族の健康に不安があるときに役に立てる病院作りを目指し、職員一同今年もがんばっていきたくと思いますので、よろしくお願いいたします。



2021年度 ケアマネ懇談会を開催しました

コロナ禍で19年度・20年度の開催を見送っておりましたケアマネ(ケアマネージャー)懇談会を2年ぶりに開催することができました。今回はオンラインシステムを活用しての初開催となりましたが、17事業所から49名の方に参加していただきました。例年は病院からの報告後にケアマネージャーの皆様とグループに分かれ懇談していたのですが、今回は初のオンライン開催ということもあり、病院とケアセンターからの報告のみとしました。

「入退院支援ルール」の活用状況について

……地域連携医療福祉相談室 松本主任
入退院支援ルールとは「病院とケアマネージャーの情報共有を強化し、患者様が安心して自宅療養できる」ことを目的に熊谷市・深谷市・寄居町が合同で作成したルールのことです。2021年8月から運用開始となり、現在の利用状況や今後の課題等について、事前にケアマネージャーの方にご協力いただいたアンケートのまとめについて報告しました。

「定期巡回随時対応型訪問介護看護」について

……熊谷生協ケアセンター田中所长
2021年9月から熊谷生協ケアセンターで開始となりました「定期巡回随時対応型訪問介護看護」について、従来のサービス内容との違いや、対象者像について報告しました。実際にサービスを導入した利用者様の事例を紹介し、ケアマネージャーの方の理解が深まったのではないかと思います。

「さあ始めよう人生会議」……小堀院長

小堀院長からはACP(アドバンス・ケア・プランニング)について報告しました。ACPとは、現在埼玉県でも進めている取組で、「自分らしい暮引きを迎えるために、将来の医療及びケアについて、患者様を主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが繰り返し話し合いを行い、患者様の意思決定を支援する過程」のことです。小堀院長は熊谷市から依頼を受け、2021年に複数回ACPについて地域の方にお話をしています。懇談会では地域の方により近いケアマネージャーの方にも知って欲しいという思いからACPについてお話をしました。



いずれの話も興味のある方はぜひ病院の地域総合サポートセンターまでお問い合わせください。(事務次長:野村 健二)

心肺蘇生法講習会を開催しました

2021年9月29日・10月1日に心肺蘇生法講習会を熊谷生協病院にて開催しました。今年度も全職員対象で行い、当院の救命救急呼び出し放送手順も同時に学習しました。合計105名が受講しました。

参加者の声

- 胸骨圧迫はかなり力を要した。人形相手でもあせってしまうので、繰り返し講習会等で行っていく必要があると思いました。
- 初めて参加し、蘇生を行う動き一つ一つがとても緊張しました。人形でできても人間相手だとすごく心配…。誰かが指示してくれると考えず、正しい実施方法を理解しておくべきだと思いました。
- 実際に心肺停止の患者様に実施した経験があります。毎年講習に参加し方法はわかっていましたが、人間に行う時はとても緊張しました。30分ほど一人で心臓マッサージを行う中でパニックになって何をしたらいいかわからない場面もありましたが、医師の指示もあってこなすことができました。改めてリーダーとして指示をしてくれる存在の重要性を感じるとともに、定期的に受講するのは大事だと思いました。

実際の場面を想定し、救命救急呼び出し放送の実施やAEDの使用、シミュレーションと振り返りを行うことで心肺蘇生への理解が深まりました。今後も多くの方が知識と技術を習得できるよう、定期的に講習会を開催していきたいと思えます。

(医療安全委員会:永沢)



くまのまち 組合員活動ニュース

熊谷生協病院
地域総合サポートセンター
くまのまち



●くらしサポーター募集のお知らせ



くらしサポーターとは、医療生協さいたまの組合員同士が助け合う有償のボランティア活動です。現在16の自治体で実施しており、近隣では熊谷市と深谷市で行われています。

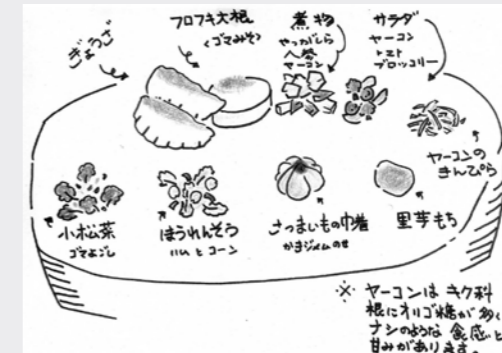
主なサポート内容としては草取り、掃除・洗濯等の家事援助などがあります。サポーターは「できることをできるときに」をモットーにそれぞれ活動しています。

皆様のサポーター登録お待ちしております。

多世代食堂を開催しました

11月13日(土)に新型コロナウイルスの影響で中止していた「多世代ふれあい食堂 HAPPYくまここ」のお弁当販売を再開しました。ボランティアとして親子連れで参加いただいた方もいました。たくさんの種類のおかずが入っているお弁当はとても喜ばれました。子どもたちが受付で検温や消毒の手伝いをしてくれたことで、ボランティアやお越しいただいた方の笑顔がたくさん生まれました。

運営ボランティアを随時募集していますので、興味がある方はお気軽にお問い合わせ下さい。



◇お問い合わせ◇ 地域総合サポートセンターまちづくりネットワーク推進課まで

熊谷生協ケアセンターだより

介護のご相談窓口 電話 048-524-0030

小規模多機能くまここより

2021年9月に閉幕した東京2020パラリンピック競技大会では日本中が盛り上がりました。その中で、火の玉ジャパンとして注目された『ポッチャ』をご存知でしょうか。ポッチャは障がい者スポーツの一つですが、『生涯』できるスポーツとして、健常者、高齢者、障がい者、誰もが楽しめると言われていています。くまここにおいても、レクリエーションとしてポッチャを行いました。ルールが簡単で、皆様、笑顔で楽しめました。今後、ポッチャを活用した地域交流の場への参加を企画したいと考えています。



小規模多機能型居宅介護くまここは地域密着型のサービスです。地域に根付いた取り組み、地域への参画を積極的に進めています。

●熊谷生協ケアセンター【ケアプラン作成・訪問ヘルパー・訪問看護・小規模多機能くまここ】
〒360-0012 熊谷市上之3851-1(介護複合施設くまここ内) TEL:048-524-0030 FAX:048-524-9667